

芸術美術

講 師	林 田 英 昭	実施時期 単 位 数	第 1 学年後期 1 単位 （20 時間）	実務経験	—
一般目標 (GIO)	様々な芸術作品を見て、自分なりの思いや印象を持ち、考え、理解する「鑑賞」と、作品を実際に制作する「表現」という二つの領域を体験する。さらにこの二つの領域を繋げ、自分の言葉で語れるように、アートを紹介したコミュニケーション能力の向上を計る。				
授 業 概 要	作品を鑑賞しながら様々なテーマで語り合う時間と、実際に各種技法で作品を制作し、完成した作品を解説する時間を設ける。期末には、これまでの学びの集大成として、発表の場を企画・実行し第三者に観覧してもらう。				
学 習 方 法	美術講義(座学)により、美術史や地域社会、文化との関りを学ぶ。さらに絵画や版画、AIなどの様々な技法によって平面、立体作品を制作。何かを感じる力(感受性)、考える力(審美観)を身に付ける。				
成績評価の方法	出席評価(50%)、作品提出評価(30%)、ミニ論文(期間中数回実施します)(20%)				
教 科 書	独自にまとめた資料を適宜配付します。				
履修上の注意	絵具や筆などの画材類は各自買い揃える必要はありません。「とにかく絵が上手になりたい」とか思ってる人には拍子抜けな授業になるかもしれませんが、「アートって何？意味わかんないんですけど」とか思ってる人には目からウロコとなる可能性が大です。				
参 考 書	・日本現代美術私観 高橋龍太郎コレクション 東京都現代美術館監修 国書刊行会 ・芸術新潮 2024年2月号 [特集]会田誠が考える新しい美術の教科書 新潮社 ・感性は感動しない 美術の見方、批評の作法 樺木野衣 世界思想社 - 他				
教員の職務経験 (科目との関連性)	日本各地、台湾などで個展、グループ展を多数開催。「地域社会とアート」をテーマに各地で講演。				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1	・講師紹介、授業スケジュールや課題の提示 ・自分の作家名を入れた落款印を作ろう	今後作品発表の際に使用する落款(作者印)を消しゴム版画で作成、制作へのモチベーションを上げる。
2	・そもそも「アート」って何だろう？ ・コラージュ作品を作ろう	雑誌を切り貼りしてコラージュ作品を制作、既存のイメージを編集し再構成することでアート作品が制作できることを知る。
3	・美術に練習って必要？ ・テクノロジーとアート 画像作成AIを使って絵を描いてみよう	プロンプト(指令文)をPCの画像作成アプリに入力し、AIテクノロジーを使って作品を制作、現時点でAIにできること、できないことを知る。
4	・アートを通して地域コミュニティとつながろう ・課題発表「心が動いたもの」を写真に残し、アートマップを作ろう	各自が見つけた「アート」を紹介、街中にある建物や彫刻、絵画等「パブリック・アート」と共にマップにまとめることで、地域を知り、自身の街に親しむ。
5	・生活とデザイン「歯科のキャラクターはなぜ奥歯？」 ・歯医者さんのキャラクターを制作	日常生活や、現在自分が専攻している分野の中にも息づくアートを知り、ポップカルチャー、ファッション、デザインなどにまで興味の対象を広げる。
6	・前半講義: すぐれた美術作品とは？ ・後半実技: 「シルクスクリーン」で作品を作ろう-1	版画の技法「シルクスクリーン」でパッチやTシャツ、ポストカードを作ろう。 前編: 下絵を描く。
7	・前半講義: アートの鑑賞方法とは？ ・後半実技「シルクスクリーン」で作品を作ろう-2	版画の技法「シルクスクリーン」でパッチやTシャツ、ポストカードを作ろう。 後編: 版を作成し、染料をのせてプリントする。
8	・インスタレーションやパフォーマンスを知って、実際にやってみよう - 講師: 内藤修子先生	「アートは描くだけじゃない?! 自分自身を作品の一部に!」講師として、この分野で活躍する内藤修子先生を招聘、歴史や見方を学び、更には実体験することで、現代アートの最前線に触れる。
9	・美術展を企画しよう。コンセプトの決定。 ・現代のアートシーンの構造を知り、アートと社会の関係性を考える。	「めざせ億万長者、君も今日からアーティスト!」作品をマーケットに流通させてみる。シミュレーションにより、現代のアートシーンの構造について学ぶ。
10	・ギャラリートークで自分の作品を解説し、思いをみんなに伝えよう	今期の美術講義の集大成として、作品発表の機会を設ける。美術展を実際に企画し、開催する。